

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育りあん		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い指導員が多数在籍しており、運動に対しての知識や指導は充実している。	運動に対しての知識や実績は他にないものだと思うので、過去の経験も踏まえてプログラムを作成している	一人一人の強みを活かしてプログラム提供を行うことで、より幅を広げる。
2	指導にあたって正しいお手本を見せられるように指導員同士で研修や実技講習を実施している。	日々共有を行い、プログラムに変化をつけている。	職員全てにもっと保育の知識がつくように研修精度を上げていく。
3	運動に特化させることで運動能力の向上のサポートは充実している。	現役のアスリートや日本代表経験のあるスタッフが在籍している。	この環境を保つために常にアスリートを雇用し続ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がなく親御様に送り迎えをお願いしていること。	運動に特化していることもあり、療育時間はマンツーマンで50分としているためこのようになっている。	送迎については検討段階ではあるが、今のところ実施の予定はない。
2			
3			